

社会福祉法人よるべ会
令和2年度事業計画書

社会福祉法人よるべ会

2020年4月1日

令和2年度 社会福祉法人よるべ会事業計画

<基本方針>

障害のある人もない人も、平等に、自立に向かって努力し、共に暮らし合う社会をめざした活動を基本とする。そして法人が行う様々な活動を通して、利用する人たち自身が主体的に社会参加に向かい、その関わり合いの中で成長し、人としての喜びが広く生まれ続ける環境づくりとその支援に努める。また、そのためにも地域社会の福祉に積極的に貢献する。

<品質方針>

- ① 私たちは、適切なサービスを提供するために、各部署で高い技量と能力を得る努力を行い、それを支援の場で実践します。
 - ② 私たちは、その実践にあたり、常に利用者一人ひとりの尊厳と権利を尊重し、利用者本位を元にしたサービス提供を基本とします。
 - ③ 私たちは、日々親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いたサービス提供を行なう。
 - ④ 私たちは、常に品質マネジメントシステムによる改善を図り、質の高いサービス提供を実践します。
- *まずは標準化されたサービス提供を身につけ、その標準化されたサービスの上に、職員一人ひとりの持ち味を加え、より質の高いサービス提供につなぐ。

※ 大切にしよう5つのS

Service (貢献・奉仕)

他に尽し与え続ける活動は人としての使命、人たるゆえん。

Speed (迅速)

他人を待たず、他人のせいにせず、自ら進んで行動する。

Spirit (真心)

より善き人間となる。他人への思いやり無くして正しい判断や行動は出来ない。

Specialty (専門性)

より良きスキルを身につけ、本業の役割を担う。玄人となる。

Satisfaction (満足)

喜ばれる嬉しさ、達成感。

〔1〕令和2年度主な活動計画

（1）権利擁護の確立

- ・利用者一人ひとりの尊厳を守り、一人ひとりを尊重する
- ・利用者一人ひとりの健康・快適・安心・生きがい・意思を支える・役割を果たす

そのための日々の姿勢・言動を初め、学習・研修により意識の向上を図る

（2）人材確保・育成への取り組み

- ・利用者への支援力の向上を組織力の向上につなぐチームワークづくり（育成）
- ・働き甲斐と働き続ける意欲が生まれる職場づくり（確保）

（3）業務の検証と改善

- ・継続と改善を正しく見極める検証と改善の実行
- ・働きやすさの追求（身近な職場環境改善の視点等）

（4）地域社会との連携

- ・私達の活動が常に地域社会、そして様々な人達との関係で成り立っていることを踏まえ、利用者一人ひとりをその関わり合いにつなぎ、存在しあう関係づくり（共生社会の実現をめざす）

（5）管理体制の強化

- ・“これからの、よるべ会”づくり

（6）職員労務管理の改善

- ・“働き方改革”の浸透・実施

〔2〕役員会の開催

（1）定例役員会開催

理事会	*令和 2年 6月11日 (木)
	*令和 2年10月22日 (木)
	*令和 3年 3月11日 (木)
評議員会	*令和 2年 6月26日 (金)
	*令和 2年10月30日 (金)
	*令和 3年 3月19日 (金)

（2）監事監査の実施

（3）必要に応じての役員会の開催

〔3〕事業概要

事業所名	よるべ沼代 (障害者支援施設)		コスタ・二宮 (障害福祉サービス事業所)		梅香園 (障害福祉サービス事業所)		わらべの杜 (福祉型障害児入所施設)	
	実施事業	施設入所支援	定員40名	就労継続支援 B型	定員20名	就労継続支援 B型	定員18名	施設入所支援
生活介護		定員40名	生活介護	定員20名	生活介護	定員22名	短期入所	定員4名
短期入所		定員4名	相談支援事業		相談支援事業		相談支援事業	
相談支援事業								
事業所名	障害者支援センターぼけっと (就業・生活支援センター)		かめりあ・ポラリスホーム 共同生活支援事業(計8棟)		あずさの家 共同生活支援事業(計3棟)		どーむ (児童発達支援事業所)	
	就業・生活 支援センター	登録者 約450名	かめりあ ホーム	定員 33名	あずさの家	定員 7名	児童発達 支援事業	定員10名
地域就労 援助センター	ポラリス ホーム		定員 13名	ポプラの家	定員 7名			
実施事業	相談支援事業				わたくも	定員 7名		

〔4〕職員配置

職種	よるべ沼代		コスタ・二宮		梅香園		わらべの杜		ぼけっと		かめりあ・ポラリス		あずさの家		どーむ	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1(兼)		1		1		1(兼)		1		1(兼)		1(兼)		1(兼)	
サビ児管	1(兼)		1(兼)		2		1				2		1		1	
医師																
看護師	1(兼)															
栄養士	1(兼)									4						
生活支援員	13	6	3	4			3						3			
支援員			5	3	12	2	5	4	6	1			1(兼)		1	3
保育士							8	10								2
児童指導員							1(兼)									
相談支援専門員	3															
世話人											14		11			
運転手					2		1									
事務員	3				1											
その他						2										

〔5〕保護者会と連携充実を図り、学習会や作業等の共同開催を行う

〔6〕職員の確保と資質向上を図る研修を行う

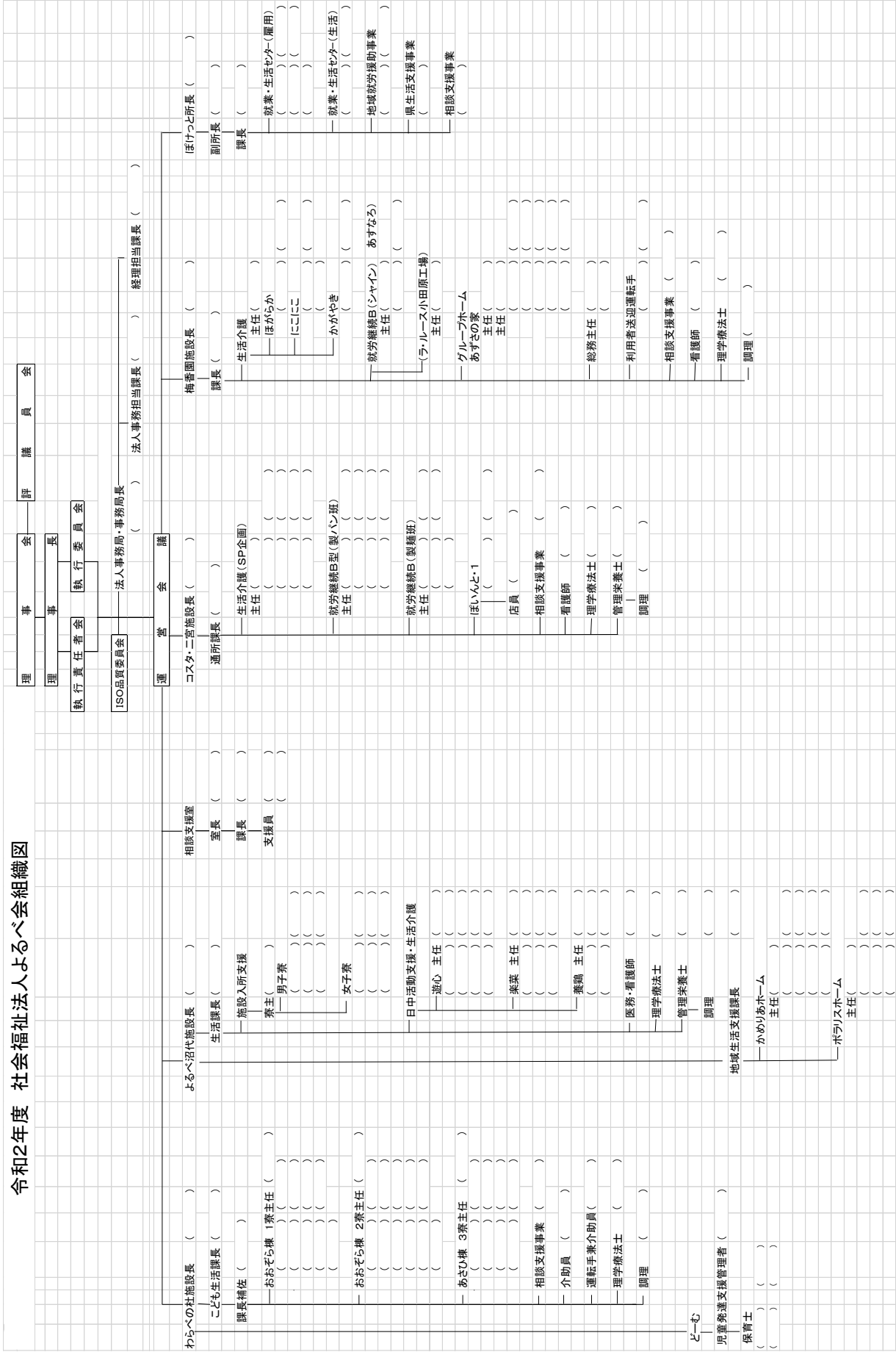
〔7〕よるべ会の広報活動として「瓦版よるべ」を発行（8月・1月）する

〔8〕各施設・事業所の防災対策の充実を図る

〔9〕ISO品質活動の充実を図る（品質委員会・各月、内部監査・年1回）

〔10〕大学・専門学校の実習生を受け入れ、その育成機関の役割を果たす
（各施設・事業所）

令和2年度 社会福祉法人よるべ会組織図



令和2年度 行事・研修予定表

月	行事・家族会他	理事会・研修会他
4	1(水) 辞令交付	
	4(土) よるべ会保護者会役員会 (日) 沼代地区祭り	
	18(土) よるべ会保護者会総会	
	21(火) みのり会総会	
5	16(土) みんなのつどい () ハイキング(梅香園)	() よるべ会監事監査
6	() 歴史そば会(梅香園)	11(木) よるべ会理事会
	() 内科検診(梅香園)	11(木)~12(金) セルフセンター研修大会(東京)
	26(金) よるべ沼代日帰り旅行	26(金) よるべ会評議員会
7	1(水) 健康診断(よるべ沼代)	1(水)~2(木) 福祉協会施設長会(横浜)
	9(木) 健康診断(わらべ・コスタ)	11(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	11(土) よるべ会保護者会・清掃	16(木)~17(金) セルフ総合研究(札幌)
	18(土) 梅香園納涼大会	
8	1(土) よるべ夏祭り	20(木)~21(金) グループホーム研修会(名古屋)
	13(木)~16(日) 夏休み () 歯科検診(よるべ沼代)	()~()セルフリーダー養成前期ゼミ
	24(月)~25(火) わらべの杜一泊旅行	
9	4(金) 梅香園旅行	26(土) 全体職員会議・研修会(わらべの杜)
	6(日) 健民祭(よるべ沼代・わらべの杜) () 健康診断(梅香園)	23(水)~24(木) 福祉協会全国(京都)
	11(金)~12(土) よるべ沼代一泊旅行	
	26(土) よるべ会保護者会	
10	18(日) よるべふれあい祭り	1(木)~2(金)セルフ関東(茨城)
	24(土) 秋の感謝祭(梅香園) () 予防接種(梅香園)	7(水)~8(木) 福祉協会関東(宇都宮) 22(木) よるべ会理事会 30(金) よるべ会評議員
11	6(金)~7(土) コスタ二宮一泊旅行	12(木)~13(金) 日中活動支援部会(秋田)
	13(金)~14(土) コスタ二宮一泊旅行	19(木)~20(金) 障害者施設支援部会(札幌)
	13(金) 予防接種(よるべ沼代) (土) 予防接種(わらべの杜)	28(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	20(金) 予防接種(コスタ二宮)	
	20(金) よるべ沼代日帰り旅行 (土) 予防接種(わらべの杜)	
12	5(土) 県西地区文化事業	1(火)~2(水) 児童発達支援部会(宇都宮)
	12(土) よるべ会保護者会・清掃	
	18(金) よるべ沼代クリスマス会	
	19(土) コスタ二宮クリスマス会	
	19(土) わらべの杜クリスマス会	
	28(土) よるべ沼代餅つき・わらべの杜忘年会	
	29(火)~1/3(日) 冬休み	
1	4(月) 仕事始め	()~()セルフリーダー養成後期ゼミ
	7(金) どんど焼き(わらべの杜)	
	9(土) よるべ会新年会	
	14(木) どんど焼き(よるべ沼代)	
2	13(土) 内科検診(よるべ沼代)	13(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	13(土) よるべ会保護者会役員会	
	21(日) 消防団合同訓練(よるべ沼代・わらべの杜)	
3	21(日) わくわくのりのりコンサート	11(金) よるべ会理事会
	25(木) わらべの杜送る会	12(土) 全体職員会議(わらべの杜) 19(金) よるべ会評議員会

令和 2 年度

障害者支援施設 「よるべ沼代」生活課 事業計画

〔1〕 運営目標

よるべ会の基本方針に基づき、質の高いサービス提供ができる様、計画的に目標設定を行い、様々なニーズに対応する。入所利用者の高齢化・重度化に対応するために、「施設入所支援」「生活介護」「短期入所」「日中一時」「計画相談」事業をさらに充実させ、それぞれの事業で必要な支援を展開します。

また、「コスタ二宮」「梅香園」「ぼけっと」「わらべの杜」や、共同生活援助事業等と常に連携を持ちながら、利用者一人一人の存在を尊重しつつ、自立に向かう意識を高める。その為の力を生み出す道筋づくりと、施設生活の質の向上に向けた環境づくりを積極的・計画的に実施します。

〔2〕 年間計画

(1) 入所支援

4月に2名の入所者を迎え、計40名（男24名、女16名 定員40名）でのスタートとなります。高齢化が進む中で、10代、20代の方も増えています。それぞれの世代や個人の趣向を考慮した余暇活動を検討、充実を図ります。また、高齢の入所者の健康に留意し心身機能の維持、向上に努めます。職員間で情報共有を図り、状況に応じた配慮や介護保険制度への移行等、必要な支援を計画、実施します。

■入所者 年代別人数 (40名) 最小年齢 18歳 最高年齢 85歳

	~20歳	20歳~	30歳~	40歳~	50歳~	60歳~	70歳~	80歳~	平均	計
男性	2	3	1	4	6	6	2	0	49.6	24人
女性	1	2	0	3	0	6	3	1	56.6	16人
計	3	5	1	7	6	12	5	1	52.4	24人

■入所者 障害支援区分人数 (40名)

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均区分
男性	0	0	0	3	12	9	5.25
女性	0	0	0	5	5	6	5.06
計	0	0	0	8	17	15	5.24

(2) 生活介護事業 ■定員 40名 現員 40名(入所者 38名 通所者 2名)

	養鶏	楽菜	遊心
利用者人数	11 (通所 2名含む)	14	15
	男性 8・女性 3	男性 10・女性 4	男性 6・女性 9
支援員人数	6	5	8
	常勤 3・非常勤 3	常勤 4・非常勤 1	常勤 5・非常勤 3

活動場所	養鶏飼育場 1 か所 鶏作業棟 1 ヶ所	遊心庵 1 ヶ所	3 F ホール 1 ヶ所
主な活動内容	養鶏育成 餌づくり 餌・水やり 飼育場整備 鶏卵集め 卵みがき クラブ活動	リサイクル・園芸活動 環境整備・機能維持訓練 健康づくり・創作活動 クラブ活動	創作活動(ビーズ、ペグ、 季節の飾り) 機能維持訓 練・健康づくり・創作活 動・クラブ活動
平均目標月額	2,300 円		

(3) 短期入所・日中一時支援事業 ■ 短期入所 定員 4 名

地域のニーズを把握しながら利用者、ご家族の要望への対応、受入れを行なっています。

(4) 相談支援事業

よるべ沼代に相談室を置き専門相談員 3 名を配置。地域のニーズの高まりに対応できるよう体制を整え、関係機関と連携し相談業務の充実を目指します。

(5) 職員体制

	常勤	非常勤	計
施設長	1 名 (兼務)		1 名
サービス管理責任者	1 名 (兼務)		1 名
課長	1 名		1 名
主任	4 名		4 名
支援員	12 名	7 名	19 名
看護師	1 名		1 名
管理栄養士	1 名		1 名
医師		2 名 (委託)	2 名

(6) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	社協お花見/保護者面談	10	ふれあい祭り
5	GW レク/みんなのつどい	11	保護者面談/楽菜班日帰り旅行
6	遊心班日帰り旅行	12	県西地区文化事業/クリスマス会 餅つき大会
7	健康診断	1	新年と成人を祝う会/西湘蘭展
8	夏祭り/夏休みレク 真夏の夜の夢コンサート	2	節分/内科検診
9	健民祭/敬老の日/歯科検診 養鶏班一泊旅	3	わくのりコンサート
【その他】インフルエンザ予防接種 (10 月~11 月)			

(7) 医療

- ・健康診断 2 回/年
- ・インフルエンザ予防接種 1 回/年
- ・歯科検診 1 回/年
- ・訪問歯科 2 回/週
- ・精神科 (訪問) 1 回/月

- ・定期通院（精神科・皮膚科・内科・外科・整形外科・歯科など）
- ・身体測定 1回／月
- ・栄養ケア会議 1回／月 食事提供の委託先業者、管理栄養士、看護師、生活課長、主任が参加。食事形態や栄養管理を含め個別対応の経過確認。健康保持のための適切な支援を行う。

（８）苦情解決

相談、要望、苦情について、相談窓口を設置。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）」ネットを活用し、他法人と情報共有を図る。苦情解決の体制、手順に沿って各機関への経過・報告を行い、速やかに対応する。

（９）県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

相談員 2 名が隔月で訪問し、利用者さんと面談。面談の内容や、いただいた助言を活かし支援の質の向上に取り組む。

（１０）防災・災害対策

年 3 回の防災訓練を実施。内 1 回は小田原市消防団（22 分団）合同防災訓練を行います。かながわ災害福祉広域支援ネットワークや県施設団体連合会の災害時訓練、地域の防災フェスタ等への参加を通じて、職員の意識向上や災害時への備えを継続して進めます。

（１１）職員の質の向上

- ・施設として必要なスキルを意識し、外部研修への積極的、計画的な参加や内部研修を実施します。
- ・新任職員への教育体制について工夫、改善を進めます。職場の定着を高めるため職員のモチベーションの維持、育成と人材確保へ向けた対策を検討、実施していきます。

（１２）地域連携

地域社会や関係機関との連携をはかり、求められる役割について検討していきます。今後も地域行事への積極的な参加、協力を継続し、地域のボランティアさんとの交流を進めます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【権利擁護の確立】◆自己チェック表を活用し自己評価、振り返りを実施。課題の抽出、改善を図る	主任	権利擁護に対する意識の向上、改善が実感できた	日常の支援場面で権利擁護に対する意識が高まったか
具体的活動②	実施者	到達点	評価
【人材育成】◆支援力向上のため、内部研修の実施、外部研修への積極的な参加 ◆4つのグループに分かれ、見学を実施。現場の取組みにつなげる	課長 主任	研修や見学から得たものから、新たな取組みを実施。積極的に活用する	業務の改善を職員間で一緒に考え、実施できたか
具体的活動③	実施者	到達点	評価
【業務の検証と改善】◆必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。改善案についての状況報告、情報共有を進める ◆職場での働きやすい環境づくり、環境美化を進める	主任	毎月の会議での確認、検証を習慣化する 職場での働きやすい環境づくり、環境美化への意識が高まった	自主的な活動へつながったか
具体的活動④	実施者	到達点	評価
【地域社会との連携】◆地域行事への積極的な参加・協力を継続し、地域のボランティアさんとの交流を深める	主任 支援員	地域との交流の機会が増えた	地域との交流を積極的に実施したか

令和 2 年度

共同生活援助事業所「よるべ沼代」地域生活支援課 事業計画

〔1〕 運営目標

よるべ会の基本方針に基づき、質の高いサービス提供ができる様、計画的に目標設定を行い、様々なニーズに対応する。入居者それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせた支援を展開し、より豊かな生活を実現するために、職員の支援スキルの向上を目指します。また、学びを怠らず、新しい情報を収集し支援に生かします。

〔2〕 年間計画

(1) 共同生活援助

4月にわらべの杜からの入居者を1名迎え、計42名（男29名、女13名）でのスタートとなります。今後も若い世代の利用者の入居が予想されるため、各世代のニーズを把握し提供するサービスを整理、課題に向けた体制づくりを積極的・計画的に進めます。 ■定員46名 現員42名

■入居者 年代別人数 (42名) 最小年齢18歳 最高年齢81歳

	~20歳	20歳~	30歳~	40歳~	50歳~	60歳~	70歳~	80歳~	平均	計
男性	5	3	1	9	3	6	1	1	44.1	29人
女性	1	1	0	2	1	4	3	1	57.2	13人
計	6	4	1	11	4	10	4	2	48.1	42人

■入所者 障害支援区分人数 (42名)

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均区分
男性	1	1	15	6	5	1	0	2.55
女性	0	0	5	5	3	0	0	2.84
計	1	1	20	11	8	1	0	2.64

(2) 職員体制

	常勤	非常勤	計
管理者	1名（兼務）		1名
サービス管理責任者	2名（兼務）		1名
課長	1名		1名
主任	1名		1名
生活支援員	3名	0名	3名
世話人	0名	13名	13名

(3) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	「がんばってる会」総会	10	ふれあい祭り
5	GW レク	11	ホーム作品展
6		12	クリスマス会／年越し会／冬休み
7	健康診断	1	新年と成人を祝う会
8	夏祭り／夏休み・夏休みレク	2	レク
9	B B Qレク	3	
【その他】 インフルエンザ予防接種（10月～11月） 旅行（入居者総会で検討）			

(4) 医療

- ・健康診断 1回／年 ・インフルエンザ予防接種 1回／年
- ・歯科検診 1回／年 ・看護師巡回 1回／隔月
- ・定期通院（精神科・皮膚科・内科・外科・整形外科・歯科など）

(5) 苦情解決

相談、要望、苦情について、相談窓口を設置。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットを活用し、他法人と情報共有を図る。苦情解決の体制、手順に沿って各機関への経過・報告を行い、速やかに対応する。

(6) 防災・災害対策

年 2 回の防災訓練を実施。かながわ災害福祉広域支援ネットワークや県施設団体連合会の災害時訓練、地域の防災フェスタ等への参加を通じて、職員の意識向上や災害時に備えるための対応を継続して進めます。

(7) 職員の質の向上

課として必要なスキルを意識し、外部研修への積極的、計画的な参加や内部研修（勉強会）を実施します。また、世話人さんのスキルアップの為の機会を積極的につくります。

(8) 地域連携

地域社会や関係機関との連携をはかり、今後も地域行事への積極的な参加、協力を継続します。また、地域の方への挨拶や入居者さんも参加して行う近隣の清掃活動等で日常的に交流を深めます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【権利擁護の確立】◆自己チェック表を活用。自己評価、課題の抽出、改善を図る。・学習の場、研修への積極的な参加等の機会を作る	課長 主任	日常の記録に権利擁護に関する記述が増えた	日常の支援場面で権利擁護に対する意識が高まった
具体的活動②	実施者	到達点	評価
【業務の検証と改善】◆業務状況を確認。必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。・働きやすい環境、職場づくりを進める	課長 主任	「エピナール、かめりあ」の各事業所ごとに、取組みを実施、評価する	業務の改善を世話人さんと一緒に考え、実施できたか
具体的活動③	実施者	到達点	評価
【地域社会との連携】◆事業所の得意なこと（人、物、場所等）を活用し地域との関わりを深める	課長 主任 支援員	地域との交流の機会が増えた	地域のニーズを意識して実施できたか

令和 2 年度

障害福祉サービス事業所 「コスタ二宮」 事業計画

〔1〕 運営目標

利用者の人権を尊重し、利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら個々のエンパワメントに着目し、障害の状況やニーズに合わせた適切なサービス提供をしていく。

(1) 年間計画障害福祉通所サービス事業

① 就労継続支援 B 型事業 定員=20 名 現員 24 名

- ・食品作業を主体とし、商品がすべてオリジナルである為の強みを生かし、利用者それぞれに応じての作業のマッチングをしていく。
- ・豊かな地域生活継承のための高工賃確保と、就労に向けての「基本的作業態度」の熟成を図る。

② 生活介護事業 定員=20 名 現員 21 名

- ・豊かな社会生活を過ごすために生産活動・学習活動・創作活動等のプログラムを個々のニーズに基づき提供していく。

(2) 日中活動

◆製パン班(就労継続支援 B 型事業)

- ・食パン・コッペパン(昨年度、需要増)のパン製造、パウンドケーキ・クッキー等の焼き菓子製造を 2 班にて展開していく。施設給食、委託店舗の販路拡大も効果的に進めていく。

収入計画=1,200 万円	(施設給食=300 万円)(委託店舗=700 万円) (外販他=200 万円)
支出計画=1,200 万円	(仕入れ・原料=700 万円)(工賃=400 万円) (その他=100 万円)
月額目標工賃	平均=20,000 円

◆製麺班(就労継続支援 B 型事業)

- ・学校給食、施設給食、委託店舗販売を主として展開していく。施設給食は、給食会社様の情報基に連携図り、新たな納入先の開拓をする。新規委託店舗開拓を、養鶏班納入先等の情報基に実施する。
- ・施設外支援の場「(株)柳川乳業」様へ、定期的な訪問を実施し丁寧な支援を実施していく。

収入計画=650 万円	(施設給食=240 万円) (学校給食=100 万円) (委託店舗=180 万円) ((株)柳川乳業様=50 万円) (外販他=80 万円)
支出計画=650 万円	(仕入れ・原料=300 万円) (工賃=230 万円) (その他=120 万円)
月額目標工賃	月平均=21,000 円

◆SP 企画(生活介護事業)

- ・「働きたいという人のために」生産活動として、“小田原市観光協会委託の提灯作成” “神奈川セルフ共同受注から委託の駐車場清掃・水道メーター分解” “秋沢農園から委

託の果物一次加工”等の作業を提供し工賃を支給していく。

- ・他各種活動として、機織りや季節の飾りつけ等の創作活動、公共施設を利用したのクッキング、よるべ沼代と連携してのダンベル体操・歌会、ボランティアを招いての“小田原踊り”のプログラムを提供していく。

収入計画=200万円	(小田原市観光協会=70万円)(共同受注=25万円)(田中屋=15万円)(その他=90万円)
支出計画=200万円	(工賃=120万円) (その他=80万円)
月額目標工賃	平均=5,000円

◆ぽいんと1の運営

- ・利用者社会参加の場として、シルバー人材センター派遣店員の方と“よるべ会”商品のアンテナショップとしての役割を果たしていく。
- ・新規のお客様獲得に向け、有効的な宣伝方法やイベント等を実施していく。

(3) 職員体制

	常勤	非常勤	計
管理者	〈施設長〉1名		1名
サービス管理責任者	1名		1名
生活介護	主任1名 他2名	4名	7名
就労継続支援B型	主任1名他4名	5名	9名

(4) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	バーベキュー	10	よるべふれあい祭り
5	ハイキング	11	1泊及び日帰り旅行、クラブ活動
6		12	Xmas会、納会
7	クラブ活動	1	新年を祝う会、社会生活セミナー
8	よるべ夏祭り、夏休み、	2	クラブ活動
9	運動会、クラブ活動	3	
【その他】健康診断=7月 予防接種・内科健診=11月			

(5) 健康、衛生

- ・健康診断 1回/年 ・インフルエンザ予防接種、内科健診 1回/年
- ・体重、血圧測定 7回(開所日時)/年
- ・感染症に対する認識を高めて、ノロウイルスやインフルエンザやコロナウイルス等の予防と拡大防止に努めいく。

(6) 苦情解決

- ・要望、相談、ヒヤリハットの情報を、日常から収集できるシステムを構築しリスクの低減に努める。
- ・JSY(寿徳会・至泉会・よるべ会) ネットにて、各機関での経過・報告を行い支援の質の向上に努めていく。

(7) 権利擁護への取り組み

- ・“虐待防止マネージャー”を中心として、職員向けの人権チェックリスト、虐待チェックリスト等を定期的実施し防止のための啓発活動を進めていく。

(8) 防災・災害対策

- ・火災や地震等の非常事態に備えた防災訓練等を定期的実施する。
- ・防災計画(BCP)を精査する。

(9) 職員の質の向上

- ・階層別研修や専門研修等の外部研修へ積極的に参加し、専門性を高め自主性・判断力を有する人材の育成に努める。
- ・内部研修の強化や、他施設・法人内他施設への見学・実習等を実施していく。

(10) 地域連携

- ・二宮町“東大跡パラスポーツの会”へ積極参加する。
- ・「よるべふれあい祭り」を通じて、“二宮町社会福祉協議会”“二宮工業団地”“福祉サービス事業所＝カンナカンナ”“二宮町シルバー人材センター”との連携を図る。
- ・「二宮商工祭り」「二宮町福祉ふれあい大会」等の地域主催のイベントに参加する。

〔3〕 ISO 品質活動計画

【品質活動計画 2020】

具体的活動①	実施者	到達点
【権利擁護】 ・“権利擁護委員”を中心とした、事業所内研修の実施。 ・職員に対して定期的に、人権侵害に係る自己チェックや虐待防止のチェックの実施。	課長 主任	各企画が実施され、外部から“虐待”の指摘等を受けない事業ができた。
具体的活動①	実施者	到達点
【人材の確保・育成】 ・専門分野(食品関連、タスカルカード、創作等)に特化した外部研修への参加。 ・「人事考課制度」を有効活用し、強化する	施設長 課長 各職員	専門分野の習熟度が高まり、現場実践に反映される。
具体的活動③	実施者	到達点
【業務の検証と改善】 ・「業務改善アンケート」等を実施し、効率化に向け検証・改善を実施する。 ・職場環境の点検、改善	施設長 課長	業務の効率化により、“利用者支援”がさらに深まる体制となる。
具体的活動④	実施者	到達点
【地域社会との連携】 ・「東大跡パラスポーツ会」への参加 ・「よるべふれあい祭り」「二宮商工祭り」「各種バザー・イベント」等の、地域行事へ積極参加	課長 主任	多くの利用者が、地域への企画に参加ができた。

令和2年度 障害福祉サービス事業所「梅香園」事業計画



〔1〕運営目標

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
(利用者さんの最善の支援を検討します。)
- ・利用者さんの目標達成に向けた取り組みを推進します。
(願掛け絵馬の課題達成に向けて支援します。)
- ・人材育成の方策を検討するとともに、職員のスキルアップを図ります。
- ・地域活動・行事に参加・協力するなど啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきます。

〔2〕年間計画

(1) 障害福祉サービス事業

①生活介護事業 (定員22名)

【ほがらか・にこにこ・かがやき】利用者人数 25名 職員数 6.5名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	1,200,000	200,000	900,000		100,000
		平均工賃額	3,000		

支援項目	支援内容
作業内容	アルミ缶・張り子・ネクスコ草取り・旧北原ミュージアム清掃など
課題と作業のマッチング	作業工程の見直しと細分化するなど、利用者に合わせて工夫をしていきます。訓練的要素を特徴として掲げるグループでは得意な作業以外にも適性を見ながら習熟できるもの、習熟できる方法を見つけていきます。
作業スキルの向上	ほがらか：今行っている作業の維持と、張り子作業などの工程を分析し、道具やジグの工夫も含めて、出来る作業を増やしていきます。 かがやき：張り子作業の全工程を皆で体験し、訓練していきます。その他の作業についても個々人のアセスメントをし、体験・訓練をしていきます。 にこにこ：張り子作業で出来ている工程について検証し、準備から片付けまでの工程を分担するなど、スキルの向上を目指します。
楽しみづくり	個々人での教室への参加に加え、グループ単位での余暇活動ではお菓子作りではおもてなしにこだわるなどさらに楽しみ方を広げていくことと、カラオケやかるた、ゲームなどでは習熟性を高めて楽しめるようにしていきます。
健康体力づくり	PTプログラムを職員と一緒に時間を確保していきます。 エアロバイク・ルームランナー等の活用、公園などでのウォーキング・土手などの散策、リズム体操を行います。
個別について	個別の時間を確実に設けていきます。 「願い絵馬」の目標や支援計画の課題等、全員が目標を達成出来るように、計画的に進めて行きます。

②就労継続支援 B 型事業（定員 18 名）

【シャイン】 利用者人数 10 名 職員数 1.75 名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	6,000,000	3,300,000	2,400,000		300,000
		平均工賃額	20,000		

【ラールス】 利用者人数 5 名 職員数 1 名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	2,160,000	120,000	2,040,000		0
		平均工賃額	34,000		

支援項目	支援内容
作業内容	シルク印刷・張り子・PC・ネクスコ草取り・内職（タオルたたみ・のし入れ）・園内清掃・旧北原ミュージアム清掃 【施設外就労】ラールス/足柄療護園（トイレ・洗面清掃）
課題と作業のマッチング	シャイン：半期に 2 枚（3 か月に 1 枚）以上の免許証取得を目指します。 ラールス：過去に修得した免許証の更新試験を順次していきます。
作業スキルの向上	シャイン：張り子作業に重点を置き、工程の見直しと作業分解・手順書を整理し、全員が関わる工程で初回の免許証試験を実施し、スキルの向上に努めます。道具やジグを工夫することが質を高めていくことに繋がります。 ラールス：免許証の更新試験を実施し、スキルの維持と習熟を図ります。
楽しみづくり	趣味を拡げたり、新たな興味へのきっかけになるように、全員が 1 つ以上の教室に参加して、新しいことに挑戦できるようにします。
健康体力づくり	PT プログラムを職員と一緒に時間を確保していきます。 ウォーキングを今まで同様に継続します。
個別について	個別の時間を確実に設けていきます。「願い絵馬」の目標や支援計画の課題等、全員が目標を達成出来るように、計画的に進めていきます。

【あすなる】 利用者人数 10 名 職員数 1.75 名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	4,200,000	250,000	2,400,000		1,550,000
		平均工賃額	20,000		

支援項目	支援内容
作業内容	園内清掃、内職（アメニティー用のタオル入れ、卵パック） 【施設外就労】ひかりの里（洗濯・清掃）
課題と作業のマッチング	一人一人のできることを再アセスメントし、適材適所でその人の持っている力を生かせる場面づくりを行っていきます。平均 2 万円の工賃に結びつくように、工賃設定も適宜見直しをしていきます。
作業スキルの向上	職員と利用者がそれぞれの共通の目標のために、免許証制度を有効に活用していきます。段階別（初級-中級-上級）に個人に合わせた手順など、常に再構成をし、園内から ひかりの里へつなげた作業スキル向上を図ります。

楽しみづくり	個別支援計画に基づき「その人にとって必要なこと」を常に念頭におき、日々と週間プログラムに教室や個別での時間や外部活用を盛り込んでいきます。
健康体力づくり	昨年度見直した PT プログラムを一から週間プログラムに落とし込み、職員と一緒にいき、日々の健康維持と体力増進につなげていきます。
個別について	個別支援計画に基づき「その人にとって必要なこと」を常に念頭におき、日々と週間プログラムに個別の時間を盛り込み、出来ることを増やし笑顔の多い作業や日中活動につなげていきます。

(2) 日中一時支援

就労後の支援（職場定着支援・金銭管理等）を行います。

(3) 職員体制

	常勤	非常勤	計
管 理 者	<施設長> 1名	0名	1名
サービス管理責任者	<課長> 1名	0名	1名
生活介護	6名	1名	7名
就労継続支援 B 型	3名	3名	7名
総 務	1名	3名	4名

(4) クラブ活動

外部講師による教室を開催し、利用者さんの楽しみを趣味や特技に引き上げ、生きがいのある暮らしに役立てていただきます。

音楽・ウクレレ・ヨガ・キーボード・歌唱・裁縫・リズム体操・エアロビ・書道・手話・絵画・漫画・パソコンの13教室

(5) 年間スケジュール

月	行 事	月	行 事
4月		10月	感謝祭
5月	みんなのつどい・ハイキング	11月	インフルエンザ予防接種
6月	利用者健康診断	12月	文化事業・ハートフルキャンパーン
7月	納涼大会・職員健康診断	1月	新年と成人を祝う会
8月		2月	
9月	全体旅行・利用者健康診断	3月	事業所レクリエーション
【その他】 年度・新年始めの会・レクリエーション（年4回）・はばたき会			

(6) 医療

年2回の健康診断、インフルエンザ予防接種の他、必要に応じて通院同行等を行います。

(7) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(8) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男性1名・女性1名）による相談支援を、継続的に年間6回行います。

(9) 防災・災害対策

防災委員会を設置し、防災計画の見直し等を行うとともに、防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(10) 職員の質の向上

研修委員会を設置し、人材育成の方策を検討するとともに、年4回の園内研修及び施設見学を企画し、職員のスキルアップを図ります。

(11) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、「はーとふる通信」を発行して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

【品質活動計画 2020】

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【権利擁護】 ・支援場面での職員の役割と対応の仕方からニーズの高まりに応える	全職員	最善の支援を検証し、必要な課題に結び付ける	最善な支援が出来たか
具体的活動②	実施者	到達点	評価
【安心で安全なサービスを提供する】 ・リスクマネジメント委員会においてヒヤリハットや事故報告から改善策の確認と検証をする	委員会	安心で安全な施設運営	安心なサービス提供の土台が出来たか
具体的活動③	実施者	到達点	評価
【人材育成の方策の検討・スキルアップを図る】 ・新人教育からOJTまでの流れの確立とマニュアル作り ・年4回の研修会と年1回の施設見学の開催	委員会 全職員	教育プログラムの策定 専門性が向上し日々の支援に活用できる	分かりやすいマニュアルが出来たか 研修の成果が現れたか
具体的活動④	実施者	到達点	評価
【業務の検証と改善】 ・4つの委員会を設置し業務の検証と改善策の提案を行う	委員会 全職員	業務の改善	今よりさらに良い業務に改善されたか
具体的活動⑤	実施者	到達点	評価
【働きやすい職場環境の整備】 ・日課等の見直しと実施	全職員	休憩時間・計画的年休の取得	休憩時間・年休を確保できる仕組みが出来たか
具体的活動⑥	実施者	到達点	評価
【地域との連携】 ・地域活動・行事等へ参加するなど啓蒙活動の推進	全職員	障害の理解が深まる	梅香園の活動等を理解できたか

令和 2 年度

共同生活援助事業所「あずさの家」事業計画



〔1〕 運営目標

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
(利用者さんの最善の支援を検討します。)
- ・利用者さんの目標達成に向けた取り組みを推進します。
- ・人材育成の方策を検討するとともに、職員のスキルアップを図ります。
- ・地域活動・行事に参加・協力するなど啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきます。

〔2〕 年間計画

(1) あずさの家<共同型住居：定員 7 名>

女性 7 名 平均年齢 49.9 歳 (最高年齢：85 歳／最少年齢：29 歳)
 区分 6：1 名／区分 5：2 名／区分 4：0 名／区分 3：3 名／区分 2：1 名
 平均程度区分：3.9

支援項目	支援内容
健康・医療	毎日の服薬確認、平熱の把握、日々のバイタルチェック、体重管理等を実施して、身体の不調や変化に気づくようにします。 また、必要に応じた通院同行を行います。
楽しみづくり	個別には、個々の外出(ヘルパー利用等)や趣味に合わせた提案を行っていきます。またホームでの外出や休日の踊り、月替わりの壁飾り作り、音楽活動、料理教室(おやつ作り含)等を行い、潤いのある生活を提案していきます。
生活づくり	イベントでの交流、地域の行事参加による交流を図っていきます。
夜間支援	定時巡回を行うとともに、ポプラと連携して、緊急時の安全確保を行います。

(2) ポプラの家<共同型住居：定員 7 名、短期入所 1 床>

男性 6 名 平均年齢 57.3 歳 (最高年齢：76 歳／最少年齢：40 歳)
 区分 5：3 名／区分 4：2 名／区分 3：1 名
 平均程度区分：4.3

支援項目	支援内容
健康・医療	高齢者が多く、全体的にきめ細かな支援が必要となっているので、ご家族との連絡をより細かく行っていきます。また、月 1 回の体重測定は継続し、職員間で情報を共有して支援につなげていきます。
楽しみづくり	ドライブや外食などの外出は、自然や生活を感じることでできる機会なのでこれからも大切にしていきます。家庭菜園にもチャレンジしていきます。

生活づくり	安心、安全を大切にして、前向きに穏やかに過ごすことが出来るように声かけを継続していきます。利用者さんの課題は園と連携して支援します。
夜間支援	定時巡回を行うとともに、あずさと連携して、緊急時の安全確保を行います。

(3) わたくも<アパート型住居：定員7名>

男性5名／女性0名 平均年齢56.8歳（最高年齢：66歳／最少年齢：42歳） 区分4：1名／区分3：1名／区分2：3名／平均程度区分：2.6

支援項目	支援内容
健康・医療	通院の状況確認や必要に応じての通院同行を行います。 自己管理能力を高める（自分の体の基本情報を知る。血圧・酸素濃度・体温）ように、健康教室などへの参加を促していきます。
楽しみづくり	「休日に楽しむこと」をテーマに、ヘルパーを利用しての外出や1人又は数人でのランチ、他ホームとも協力しての畑作業等を提案していきます。
生活づくり	各居室・共有部分の清潔が保てるように支援していきます。 地域の中で暮らしていることの意識づけを図るために、地域とのつながりを意識した情報発信をしていきます。
夜間支援	ポプラとあずさ連携して、緊急時の安全確保を行います。

(4) 職員体制

	常勤	非常勤	計
管 理 者	<兼務> 1名	0名	1名
サービス管理責任者	<兼務> 1名	0名	1名
あずさの家	2名	3名	5名
ポプラの家	1名	5名	6名
わたくも	2名	2名	4名

(5) 年間スケジュール

月	行 事	月	行 事
4月		10月	ホーム日帰りレク
5月	合同レク（帰宅者以外）	11月	インフルエンザ予防接種 地区公民館文化祭
6月		12月	文化事業・合同クリスマス会
7月	職員健康診断	1月	初詣
8月	地区夏祭・合同BBQ	2月	節分豆まき
9月	利用者健康診断	3月	観桜会
【その他】誕生会・ドライブ・料理教室・お菓子作り（随時）			

(6) 医療

日々のバイタルチェックを行うとともに、必要に応じて通院同行等を行います。

(7) 苦情解決

入居者の話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(8) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男性女性各1名）による相談支援を、継続的に年間3回行います。

(9) 防災・災害対策

園の防災委員会に参加して、防災計画の見直し等を行うとともに、防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(10) 職員の質の向上

園の研修委員会に参加して、人材育成の方策を検討するとともに、年4回の園内研修及び施設見学を企画し、職員のスキルアップを図ります。

(11) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、園で発行する「はーとふる通信」の作成に協力して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

*梅香園の品質活動計画に準じます。

令和 2 年度

福祉型障害児入所施設 「わらべの杜」 事業計画

〔1〕 運営目標

入所を必要としている児童に対し、安定した“暮らし”を提供。入退所における空床がないよう事前の調整等を図り、通年通して安定した運営となることを目指します。

〔2〕 年間計画

(1) 障害児入所支援

今年度は 4 名の地域移行対象（卒園児）がおります。丁寧な聞き取り等が必要な児童が多いため、児童相談所や学校、市町福祉課等の関係機関とのカンファレンスの機会を多く持つことで、本人の意向を中心に進めていけるよう目指していきます。

移行の時期は不安定にもなる時期となっており、様々な心理的葛藤が生まれます。ユニット制のメリットを生かし、本人に寄り添った支援展開をしていくようにいたします。

■ 定員 40 名（男 29 名、女 11 名）、6 ユニット制

(2) 短期入所事業

安定した利用者の方ばかりでなく、新規のご希望の方が若干減少しつつあります。地域ニーズの把握をしながら、地域貢献できる事業として利用していただけるよう働きかけていくようにいたします。

■ 定員 4 名

(3) 学校関係

【今年度通学予定の学校および人数】（令和 2 年 4 月 1 日現在）

学校名	学部等	男	女	計
下中小学校	特別支援級	5	1	6
橘中学校	特別支援級	9	2	11
小田原養護学校	小学部	1	1	2
	中学部	2	1	3
	高等部	7	5	12
	高等部分教室	2	0	2
伊勢原養護学校	高等部	0	1	1

(4) 職員体制

		常勤	非常勤	計
施設長	施設長 1 名	1 名		1 名
	課長（児童発達支援管理責任者）	1 名		1 名
2 寮	課長補佐（兼 2 寮主任）	主任 1 名 他 4 名	7 名	12 名
1 寮	主任	主任 1 名 他 4 名	6 名	11 名

3寮	主任	主任1名 他4名	4名	9名
運転手他	2名	2名		2名

(5) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	入学式・障害者スポーツ大会	10	下中うっしっしー祭り・ふれあい祭り
5	バーベキュー・みんなのつどい	11	地域行事
6	わらべ運動会・地域行事	12	Xmas会・ホームパーティ
7	夏休み	1	初日の出・お正月・箱根駅伝
8	よるべ夏祭り・一泊旅行	2	節分・卒業旅行
9	防災の日	3	非常食の日・送る会
【その他】日帰り旅行・長期休暇各寮イベント・GH交流会など			

(6) 医療

- ① 職員健康診断 1回/年
- ② 児童健康診断 2回/年（うち1回は学校で実施）百合が丘クリニック
- ③ 児童歯科検診 1回/年 こうの歯科
- ④ インフルエンザ予防接種 1回～2回/年（小学生のみ2回）百合が丘クリニック
- ⑤ その他予防接種
- ⑥ 定期通院（児童精神科・皮膚科・眼科・小児科など）

(7) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(8) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男性1名・女性1名）が継続的に年間5回～6回来園。

各寮にそれぞれ入り、児童からの相談や会話に積極的に入っています。権利擁護にかかる内容や、なかなか人に言えない内容等があった場合には、KW 協力員、施設長とも相談し、内容によっては施設全体として解決に向けて取り組みます。

(9) 防災・災害対策

今年度も月1回の避難・通報・消火訓練を実施していきます。また、地域での防災フェスタ等にも参加し、職員の防災意識向上へ努めていきます。

とくに風水害を想定した研修や訓練には力を入れていくようにしたいと考えています。

(10) 職員の質の向上

施設全体のボトムアップを図るため、研修に変化をつけて実施していきたいと思えます。他施設への研修も含めて、職員のモチベーションの維持・向上を目指し、将来を担ってもらえる“人財”の育成と確保に力を入れていきます。

(11) 地域連携

地域の中の一つの拠点としての機能を保ち、地域に必要とされる施設、開かれた施設を目指し、今後も地域活動・行事に積極的に参加・協力をしていきます。

また、会議室の貸し出し等による地域ニーズにも対応できるよう周知していきます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

【品質活動計画 2020】

具体的活動①	実施者	到達点	評価
<p>【権利擁護の確立】 ◆1 寮 意思決定支援を意識した輝ホームの運営と子ども会議の実施を行っていく。</p>	寮職員	輝ホームすべての子どもたちの意思の表出がされ、子ども会議に反映された。	輝ホームすべての児童から意思表示ができたか。 意見を踏まえた会議運営ができたか。
<p>◆2 寮 子ども会議を隔月の開催とし、開催しない月は少人数グループによるソーシャルスキルトレーニングの時間にあて児童等の意見発信の場を作ると共に人間関係の向上を図る。</p>	寮職員	全児童からの発信力の向上となり、良好な人間関係の構築となった。	発信力の向上ができたか。 マッチングの課題もある中で、良好な人間関係が築けたか。
具体的活動②	実施者	到達点	評価
<p>【人材確保・育成の実質的取り組み】 ◆他施設研修を実施 新しい研修を取り入れ、直接支援業務にあたる職員への発想の広がりやスキルアップを目指す。</p>	施設長 直接支援 業務職員	他の福祉型障害児入所施設へ一日研修に行き、自事業所に生かすための経験を積む。	経験を積むことで新しい発想を持つことができたか。その経験を自事業所に生かすことができたか。
具体的活動③	実施者	到達点	評価
<p>【業務の改善と検証】 ◆1 寮 安全面に配慮した支援および環境設定を行う。(継続)</p>	寮職員	児童の安心・安全な生活を維持・向上が可能となった。	ケガや事故がない生活が送れたか。生活の質の向上が図れたか。
具体的活動④	実施者	到達点	評価
<p>【地域社会との連携】 ◆積極的に地域行事等に参加し交流を図る。地域清掃を行い、地域の美化清掃に取り組む。</p>	全職員	地域で開催される行事・イベントに積極的に参加し地域の方々と交流を図ることができた。長期休みを中心に地域の美化活動に取り組む。	お誘いを受けた行事ばかりでなく、地域で開催される行事・イベントに積極的に参加し交流を図ることができたか。 美化活動を行ったことで、地域活動への協力ができたか。

令和2年度

児童発達支援事業所 「どーむ(童夢)」 事業計画

〔1〕 運営目標

安定した事業運営を目指し、活動を通して広く周知を行っていく。利用する児童へは、適切な環境設定と適切な療育により、児童の就学に向けた準備等を実施していきます。また、保護者への相談等には丁寧に対応し、一緒に悩み、解決に向けて一歩ずつ取り組んでいくようにしていきます。

〔2〕 年間計画

(1) 児童発達支援事業（定員10名/日）

昨年度の経過から、営業日と営業時間を一部変更し、プログラムを実施。

「発達支援」「家族支援」「地域支援」を支援の3本柱として、個別支援計画（ぼくとわたしの目標シート）を作成。作成にあたっては併行通園先との情報共有を生かし、適切な目標設定を目指します。

児童、保護者の気持ちに寄り添い、家庭で適切な養育になっていけるようサポートしていきます。また、茶話会を年間3回企画し、保護者同士の支えにもなっていけるよう機会を提供していきます。

(2) 職員体制

	常勤	非常勤	計
所長	1名（兼）		1名
児童発達支援管理責任者	1名		1名
保育士・児童指導員	1名	3名	4名

(3) 年間スケジュール

顔合わせ週間、面談、クッキング、茶話会（年3回）、お出かけ会等

(4) 医療

必要な医療機関と連携していきます。

(5) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(6) 防災・災害対策

今年度も月 1 回の避難・消化・通報訓練を実施していきます。また、短調な訓練の繰り返しとならないよう配慮し、緊張感を持った取り組みと風水害への対策も想定した訓練についても実施していきます。

(7) 職員の質の向上

併行通園先とのコミュニケーションを通し、幼稚園・保育園としての考え方を学び、小田原市で実施している「早期発達支援事業(研修)」への参加も行っていきます。外部研修も必要に応じて出席していきます。

(8) 地域連携

併行通園している幼稚園・保育園等と連携し、児童の状況把握に努め、早期対応が可能となるよう向けていきます。

また、市町の発達相談(心理相談)とも連絡を取り合い、療育としての視点だけでなく、心理的側面からのアプローチについても探っていきます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

【品質活動計画 2020】

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【利用者支援】 ◆児童の正確な状態把握をしていくため、併行通園先の幼稚園・保育園を訪問し、個別支援計画に生かしていく。	全職員	全ての児童に対し併行通園先を訪問。適切なアセスメントが実施できた。	アセスメントの実施から、適切な療育につなげることができた。

具体的活動②	実施者	到達点	評価
【業務改善の取り組み】 ◆安定した運営に向けた取り組み	所長 常勤職員	全ての営業日に10名が通園	体調不良を除き、当園拒否もなく安定した通園となる。

令和2年度

障害者支援センターぽけっと 事業計画

〔1〕運営目標

障害者就業・生活支援センターとして、「就職や職場適応などの就業面の支援や、生活習慣の形成や日常生活の管理など生活支援が必要な障害者に対して、就業に伴う日常生活、社会生活上の支援を行い、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を提供し、職業生活における自立を図る」を目的とした事業運営を基本に、職員のスキルや経験を活かしたライン制を構築し、より効果的な支援提供を目指す。

また今まで行ってきた「特定相談支援事業」においては、「ぽけっと」から切り離し、法人全体を対象とした新たな組織を立ち上げ行っていく事とする。

〔2〕年間計画

(1) 障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定事業)

- (1) 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- (2) 事業主に対して、障害者の雇用前後の雇用管理に係る助言等を行う。
- (3) 障害のある人に対して、当センター及び障害者職業センター又は事業所により行われる職業準備訓練及び職場実習を行うことを斡旋する。
- (4) 障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供並びに研修を実施する。
- (5) 関係機関との連絡会議などを開催し、これら機関との連携を図る。
- (6) 職場定着支援促進のための在職者の交流活動を行う。
- (7) 求職者を対象とした「ぴあ活動」を行う。
- (8) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援として「企業交流会」を行う。

(2) 障害者就業・生活支援センター事業(生活支援事業)

就業に伴う日常生活の支援を必要とする登録者に対し、窓口での相談や職場・家庭訪問等による生活面の支援などを実施する。

(3) 地域就労援助センター事業

就労が困難な障害のある人の就労を支援するため、職業能力に応じた就労の場の確保と職場定着を支援する。

(4) 職員体制

	常勤	非常勤	計
所長	1名(兼)		1名
副所長	1名		1名
課長	1名		1名
就労支援ワーカー	3名	2名	5名

(5) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	BBQ 大会	10	合同面接会、企業交流会
5		11	ぼけっとピア
6	ぼけっとピア(在職者対象)	12	忘年会、ピアサポート
7	ピアサポート(求職者対象)	1	勉強会
8	勉強会	2	合同ピア
9	合同ピア、面接練習会	3	ぼけっと連絡会

(6) 職員の質の向上

- (1) 登録者一人ひとりの能力と適性を発揮できる就労支援を実施するために、内外の研修会に積極的に参加し、支援者としての倫理観や、専門的な知識の習得等、そのレベルアップを図る。また、会議等にて報告会を開催し、外部研修の成果を全員で共有する。
- (2) 職員個々の目標を設定し、課題や達成時期等を明確にするとともに、目標に対する進捗状況の確認を行う。

[3] ISO 品質活動計画

■ IS09001/2008 維持管理

品質活動計画	具体的活動	到達点
○権利擁護の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●地域診断を通じ、ぼけっとに要請される権利擁護の内容を明らかにする。 ●その内容に応じ、必要な教育科目を作成し、チェックリスト化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要請される権利擁護の明確化。 ・効果測定をチェックリストを通して定期的に行う。
○人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ●支援記録をより良いものにしていく取り組みを行う。 ●ケース検討する力を所内で高め、支援力につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開示に応じられる支援記録を作り上げる・ ・年間を通じて計画的にケース検討を続け、スーパーバイズができる職員集団を目指す。
○業務の改善、見直し	<ul style="list-style-type: none"> ●PKP(ぼけっと環境改善プロジェクト)による、定期的な就業環境改善などの活動。 ●ムリ、ムダ、ムラを無くすための業務の見える化への取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様に PKP を組織化して、担当チームからの意見を反映させる。 ・個々に帰属している業務を見える化して、仕事をシェア出来る仕組みを考えて導入する。